



# 帽子の泉プロジェクト便り

帽子の泉プロジェクト  
2015年6月発行

"I believe The Hat Spring Project is bringing strangers together to benefit you.  
We are sorry you had the tsunami but we are glad you endured.  
We are united in our desire to encourage you all and keep your ears warm."

Jamie, 2012

「帽子の泉プロジェクト」を通じて、きっと新たな出会いと結びつきがもたらされていることでしょう。私たちは津波（震災）の被害に心を痛めつつ、みなさんがその困難に耐えていることに敬意を表します。帽子でみなさんの耳も心も暖まりますように。この願いの元に、今私たちは一つに結ばれています。」

ジェイミー、2012年（支援学校高等部 帽子贈呈式にてメッセージ代読）

名取の皆さん、そして帽子の泉プロジェクトを応援してくださっている皆さん、お元気ですか。ジェイミーさんとナンシーさんが来日され、帽子の泉プロジェクトの仲間が名取に集合して温かなひとときを過ごしてから1年余。

名古屋のメンバー高木、海田、駒田の3名は、帽子の泉プロジェクトを通して生まれた新たな出会いと友情を大切な宝物として活動を続けています。この交流をさらに深めていくことを願い、私たちの活動をご紹介するお便りをお届けさせていただくこととなりました。

不定期の発行になりますが、今号のような印刷物や、メールも媒体として活用したいと思っています。

## 虹



ジェイミー・バナズタルさん=本人提供

米国から届いた二つの段ボール箱。中には、青や緑など色とりどりの手編みのニット帽が詰まっていた。「この色の組み合わせ、すてきよね」。受け取った名古屋市中川区の高木久美子さん（左）は、友人の駒田裕子さん（右）＝同市天白区、海田洋子さん（右）＝同市中川区と歓声を上げた。送り主は、米ワシントン州アナコーテス市に住むジェイ

東海地方の有力日刊紙『中日新聞』（2015年7月11日付）の「虹」コーナーに、ジェイミーさんと帽子の泉プロジェクトが紹介されました。

掲載後、記事を読んだ友人・知人からの反響も大きく、早速アメリカのジェイミーさんにも新聞のコピーを送りました（写真左）。



2012年と同様に、昨年の名取・みのり園での贈呈式や支援学校訪問の記録のために、写真をまとめたムービーを制作することとなりました。

背景用音楽の選択にあたり、名取の皆様とご一緒する中で触れた皆さまの想いと、名取を続けて応援していきたいという私達の願いを音楽という形で共有できないかと考え、歌『あなたを想えば』（詞・曲 miko-miku）が生まれました。

歌には、震災で亡くなった方々への追悼の気持ちと、今被災地に生きる方々への思いが込められています。これからも大切な人に寄り添い、共に生きていこうというメッセージです。

## 米国から真心 ふんわり



段ボール箱を開封し、帽子のサイズを確認する（左から）高木久美子さん、駒田裕子さん、海田洋子さん＝名古屋市中東区で

ミー・バナズタルさん（左）。駒田さんが二年前、NPO法人のホームステイ事業で訪米した際の滞在先だ。バナズタルさんは、駒田さんの帰国前、洗濯かごに入ったニット帽を見せて言った。「（東日本大震災の）津波で被災した子どもたちにプレゼントして、頭だけでなく、心も温めたいの」。編んだのは、一人暮らしのグレース・タソバックさん

（左）。自活できない高齢者の支援活動をするバナズタルさんに、生きがいになればと勧められた。バナズタルさんが教会で集めた毛糸で、一日一個ずつ編んだという。善意のリレーは、高木さんの知人の宮城県名取市議を通じてつながり、二〇一二年十二月、県立特別支援学校の子どもたちに百六十六個をプレゼント。今年五月には初来日したバナズタルさんが、名取市の障害者支援施設に五十個を自ら届けた。「グレースの帽子で東北の人たちを笑顔にできた」とバナズタルさん。高木さんは「多くの人の喜びや生きがいになるとあらためて分かった。このつながりをさらに発展させていきたい」と話した。（社会部・戸川祐馬）

暮らしの中で見聞きした、ちょっといい話や心温まるニュースをお寄せください。連絡先を明記の上で〒460 8511 中日新聞社会部「虹」係へ。ファクスは052(201)4331。メールアドレスはniji@chunichi.co.jp



名取訪問を含む昨年5月の日本旅行から帰国後、ナンシーさんは旅行中に撮った写真でとても素敵な記念のアルバムブックレットを制作しました。その本の中には、名取の

日和山やみのり園、支援学校での写真も収められています。

また、みのり園で購入したクッションカバーをととても気に入っているそうです。ナンシーさんのお宅の居間にぴったりですね！



ナンシーさんは自身が経営するスパ・サロンで、乳がんの患者さんの支援活動を行っておられます。その社会貢献が認められて、全米の”The 100 Everyday Amazing 2014”（素敵毎日ベスト100）という名誉ある賞を受賞しました。



グレースさんの手編みの帽子は、昨年はみのり園へのプレゼントの他、ジェイミーさんのコーディネートにより、シアトルの慈善センターへも寄贈されました。

この夏、駒田さんは再び渡米予定です。滞在中にジェイミーさん、ナンシーさんとの再会を計画。帽子の泉プロジェクトその後の活動について、直接お伝えできる機会がありそうです。



昨年7月のジェイミーさんの記事掲載を担当された中日新聞の戸川祐馬記者は、その後同紙の東日本大震災から4年目の特集記事『被災地は今』で、1ヶ月の東北集中取材を行い、記事を執筆されました。本年2月から4月同紙特集には、計4本の名取に関する記事が掲載されています。



ジェイミーさんや帽子の泉プロジェクトを紹介してくれた記者さんの書く名取の記事ですから、より一層強く引付けられ、真剣に読みました。

名取に関する新聞記事等は帽子の泉プロジェクトファイルに切り抜き保存しています。



本年3月15日には、帽子の泉プロジェクト主催による音楽公演「有坂ちあきライブ in 名古屋」をカフェ・オーバータイムにて開催しました。

有坂ちあきさんはJ-Rock 所属のシンガーソングライターで、公演、CD制作、CM楽曲提供等の他、年間300日もの路上ライブを通して、多くの人々の心に寄り添い、メッセージを届け続けています。

ご自身も阪神淡路大震災を経験し、東日本大震災後には被災地にCDの売上を寄付。また、現在も定期的に復興支援のラジオ番組に出演するなど社会貢献活動にも尽力されています。

ライブでは、帽子の泉プロジェクトと有坂さんの想いが紡がれて、とても温かい雰囲気にも包まれ、来場されたお客様には大好評でした。有坂さんには『あなたを想えば』を歌っていただき、最後はお客様全員で合唱していただきました。

午前の部、夜の部の2回公演は満員御礼となり、会場では「みのり園」のクッキーを販売し、施設とその活動を紹介させていただきました。



歌『あなたを想えば』は、オリジナルの日本語歌詞の他、帽子の泉プロジェクトの活動に賛同して下さる方々により、英語・中国語・マンダリンバージョンが制作され、現在スペイン語・インドネシア語・フランス語版の制作が進行中です。



本年3月には、「NPO ユートレック春の国際交流プログラム」にボランティアとして参加し、ユタ州に滞在した駒田裕子さんが、ホストファミリーのリサさんに『あなたを想えば』英語版を紹介。リサさんは自身が所属する女性アンサンブル・サークルの施設などでのリサイタルで歌を披露することを快く承諾してくれました。

名取の皆さんとこれからもつながっていきたくて願い作られた歌ですが、歌詞に込められた「大切な人への想い」に普遍性を見出し、共感して下さった方々が、国内外を問わず歌を広く紹介していかうと、楽譜制作や翻訳等、普及活動に協力を申し出て下さっています。歌詞の翻訳を担当して下さった中国のジャン ベイさん、台湾のピージュエンさん、英語歌詞を作词された駒田裕子さんにコメントをいただきました。



ジャン ベイさん

はじめて歌詞を読んだとき、とても美しい言葉に心を打たれました。歌詞らしく中国語に訳そうと日本語を何度も何度も深く読んでいく中で、美しい言葉の裏に、力強さと滲み出た暖かさを感じるようになりました。きっとこの歌を聞いた誰も、心が動かされるに違いありません。ハンディキャップを持って生きている方々に、厳しい環境の中で、私たちは何をできるのかと考える際、この歌にあるような「共に生きよう、共に歩こう」が一番なのかもしれません。寄り添うことが、なにより心強いことでしょう。



駒田 裕子さん

英詞を制作するとき、フレーズを曲に乗せて何度も繰り返し口ずさみます。「これ！」という時は、驚くほどすんなりと自然に歌えるのです。曲が歌詞を連れてくるような、メロディーを通して言葉が降りてくるような、そんな不思議な感覚を何度も味わいました。渡米中、英語版「あなたを想えば」を聞いてくださった方から、「耳に心地いい」「誰にでも当てはまる普遍的な歌詞ですね」「所属する合唱グループで歌います」など、嬉しい言葉をいただきました色々な場所で、色々な人と一緒に歌っていけたら幸せです。



ピージュエンさん

日本語の歌詞を拝見したとき、国境を越えて世界がひとつになった気がしてすごく感動しました。皆さんが一生懸命生きようとする姿に勇気づけられました。一緒に頑張りましょう。台湾から応援します！

### アサヒビール株式会社様より寄付金をいただきました！



帽子の泉プロジェクトはこの度アサヒビール(株)中部統括本部様より寄付金をいただきました。

同社では全社環境ボランティア活動や会社主催のボランティア活動、さらには社員の皆さんが独自に行っているボランティア活動に対し、ポイントを発行する「アサヒエコマイレージ」を実施。年間で貯めたポイントを金額に換算して地域の社会貢献活動をしている団体に寄付をされています。

帽子の泉プロジェクトを通して、被災地で復興に尽力されている方々への温かい関心と応援のお気持ちを届けてくださったことに感謝しつつ、いただきました寄付金は同プロジェクトの活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました！



▲アサヒビール(株)中部統括本部の担当・総務部の田原様よりお手渡しいただきました。

